

住友化学 i-農力だより

<http://www.i-nouryoku.com/index.html>

第39号 3月10日
発行 住友化学(株)アグロ事業部
お客様相談室 0570-058-669
発行責任者 古津 昇

目次

農家さん訪問記 (25)	p.1
りんごの病害虫チョットいい話(13) . . .	p.7
今月の農薬紹介	p.8
住友化学アグログループ紹介 日本エコアグロ(株) .	p.9
住友化学の液肥について(その3)	p.10
農薬あれこれ?なぜなに?コーナー	p.11
今月のお奨め農薬	p.12
今月のご相談から	p.13
農薬登録情報	p.14
最近の「お・美味しい!」	p.16
コラム・そば談義	p.17
編集後記	p.17



カシラダカ(ホオジロ科) きんかん(マツカゼソウ科) 富樫 信樹 画

農家さん訪問記(25)

大分県でJGAP取得第一号の栗田さん!

日本列島を全国的に寒波が襲った2月中旬、私たちは九州の大分空港に降り立ちました。今回のご紹介は、ここ大分県の豊後大野市でみつばを栽培されている有限会社育葉産業 代表取締役 栗田洋蔵さん 大分県で唯一のJGAP*取得者 (53歳)です。

農道空港がきっかけで本格的なみつば作り!



栗田さん

南国九州とはいえこの日の大分は特に寒く、薄く雪景色でした。雪の舞う空港を後にして向った先は、大分市内を抜けた先の豊後大野市です。車が山間の道を登ると、立派なハウス群が見えてきます。車を降りると今回お話を伺う栗田さんが笑顔で迎えてくれました。

大分県はみつば生産量で全国4位を誇ります。栗田さんのみつば畑は73アールです。すべて鉄骨ガラス温室(ハウス)の水耕栽培で、「美水(めいすい)みつば」という商品名で出荷しています。みつばの栽培は、学校を卒業後すぐに始めたわけでは

ありません。栽培を始めるまでは大分市内で電気関係のサラリーマンでしたが、平成4年に現在の場所で新規就農しました。もともと実家は農家で、大分市内でお父さんが昭和47年頃からきゅうりの水耕栽培を始めましたが、思うように収益が上がっていませんでした。ある時、みつばの栽培を知人から勧められ、作り始めたところ思い



ハウスと作業所全景

のほか上手いき、友人らを誘って大分市のみつば部会を立ち上げました。水耕栽培を行っている方々は向上心も高く、全国の仲間がお父さんを尋ねてこられるのを見て、その頃から「農業は面白いかもしれない」と思っていたそうです。

また、平成3年頃はバブル絶頂期で、何を始めるにも良い時代でした。この頃、大野町に農道空港(大分県央空港)ができることになり、その周りに軽くて空輸しやすい付加価値の高い作物の産地をという県の要望に沿うかたちで、新規就農者としてこの地にやってきました。当初は栽培の素人だったので、「何もかもがわからず大変だった」と、栗田さんは笑いながら話を続けます。栗田さんが就農した2年後にお父さんは他界され、そのため実質半年しか栽培を教わることが出来なかったそうです。そのため、うまく栽培が出来るようになるまでは、試行錯誤の連続で大変苦労されたそうです。

なにしろ73アールという広い面積を任されてしまったわけですから、手伝ってもらわなければならない。この「スタッフ集め」も一苦労でした。大野町に来たばかりで知り合いも少なく、スーパーでみつばを手渡ししながらチラシを配りました。そして、ようやく集まった4人からスタートしました。次に、作業に慣れてもらうのも時間がかかります。特に、収穫後箱詰めする前に行う「みつば調整(不要な葉を取り除く)」と呼ばれる作業が難しく、10束で1ケースの箱詰めが、当初は1日で30~40ケースほどしか出来なかったそうです。それが、現在ではスタッフが32名まで増え、通常1日900ケースの箱詰めをこなせるまでになりました。実際に、みつば調整をするスタッフの方の映像を見せてもらいましたが、目にもとまらぬ早さで見事！でした。

ほぼ毎日播種して毎日収穫するみつば！



みつば調整等の作業風景

朝の4時から皆さんは、収穫作業を始め出荷します。みつばの収穫までは大きく分けて「播種 定植 収穫」という作業があります。播種から定植までは10日~14日、定植から収穫までは30日~40日かかります(日数が変動するのは季節によるものです)。播種・定植は専用機械でロボット化されていて、最後の収穫・調整は、

みつばが傷まないように手作業です。このサイクルでほぼ毎日播種します。毎日播種ですか

ら、すべての生育ステージのみつばがハウス内で見られるわけで、実際に、播種したのから、収穫間際のものまで様々な表情のみつばを見ることができました。中学校の研修で見学に来た子どもの一人が、「一日で夏休みの自由研究が終わる！」(ハウス内で全の生育ステージのみつばが見られる)と言っていたそうですが、なるほど、まさにそのとおりでした。

水耕栽培は、土を使わない栽培法ですが、肥料などの利用率が高い(土耕栽培と比べると作物以外に吸収されてしまうことも少なく、水も循環させているため)というメリットがあります。その反面、夏は水を冷やす必要から電気代がかさみます。また、作物には害虫や病気が発生します。みつば栽培では、害虫の被害というよりは、病気の被害の方が「やっかい」なので、病気を助長する「湿度」が大敵となります。湿度を下げるには換気が必要ですが、換気を良くすると外から虫が飛び込みやすくなります。しかし、栗田さんが言われるには「換気が出来なくて病気が発生するくらいなら、換気が出来て多少虫が入ってくる方がマシ」とのことです。虫の飛び込みに関しては、ただ手をこまねいているだけではありません。農薬だけに頼らず、ハウスの周りにコンクリートを張り、虫の生息地にならないように工夫もしています。これはかなり効果的のようです。

会社経験を活かした効率的なみつば経営！

栗田さんは、農業法人という形で経営をしています。法人化した理由は、税務処理やスタッフの社会保険の処理が難しく、経理処理についても厳格さが求められるという面がある一方、大きな建設施設の借入れ枠を大きく出来ることや、従業員を雇用しやすいこと、役員報酬を受けられることで家計と分離出来るなどメリットが大きいです。経営の収支は、法人ということで通常の個人農家と違い会社役員報酬も絡んでくるので、単純に農業所得がどのくらいとは言えないそうですが、「企業で言えば5%の利益率」ということで、間違いなく優良企業にあたるそうです。



ハウス内自動制御



箱詰め作業

取引先市場は、全農を通して半数が広島県で、ほかに神戸、岡山、鹿児島、そして一部が東京シティ青果です。価格(単価)はひとところに比べると下降傾向で、最盛期の20%減という状況だそうです。しかし、価格が下降気味でも栗田さんはメゲマセン。みつばを出荷する際に利点をフル活用するだけでなく、また、持ち前のマメさで、取引先である市場とも良い関係を築いています。その出荷の利点とは「みつばは出荷規格がないため、出荷量を随時調節出来る」ということです。みつばは、10束1ケースで出荷しますが、食べる時に大きさが問われないため10束さえあれば草丈が大きくても小さくてもよいのです。つまり、需要の少ない時はみつばの草丈が少々大きくなっても収穫量を減

らし、注文の多いときは少々小さくても前倒して収穫出来ます。この利点を活かすことで、無駄のない出荷を実現出来ます。また、栗田さんの方から市場にも積極的に情報提供をしています。週末毎に、みつばの生長および栽培の状況、全取引市場の市況などを市場に送っています。それにより市場側も生産状況や他の市場の動向が逐一分かるので助かるそうです。また、栗田さん側も、状況に見合った相場で取引ができるメリットがあります。また、市場に手数料を払っているのだからその販売担当者は言わば自分の従業員と同じだと考えて、さまざまな情報の提供を受けています。このように、JAや市場と良い関係を保つ事が、出荷の絶妙なさじ加減を可能にしているといえます。

栗田さんがサラリーマンをしていたことは先に触れました。このサラリーマン時代の経験が、現在いくつも活かされています。まずは、もともと異業種にいたので、「既存の農業業界に縛られない動き」が出来たことです。JA職員が同行しなくても頻繁に取引市場やそれ以外の市場に足を運び、情報や信頼を得られたのもその一例です。また、栽培に関しても大きな視野で物事を考えることができます。さらに、もともとSE(システムエンジニア)だったことから、その時の技術を活かしてコンピュータを使い液肥の供給量の管理や環境制御を、事務所にある監視装置(コンピュータ画面)で行っています。これには本当に驚きました。さらに、こういった効率化につながるシステム化作業が、特に抵抗無く、むしろ当然とばかりに取り入れられたことが、大きいといえます。実際に、これが前提にあったからこそ、大分県初のJGAP取得という結果に繋がったのかもしれない。

まじめな農業の取り組みでJGAP取得！

栗田さんが取得したJGAPとは、何でしょうか？

日本GAP協会ホームページによると、JGAPとは『農産物の安全、環境への配慮、生産者の安全と福祉、農場経営と販売管理を実現するために押さえるべき農場管理のポイントをまとめたもの』とあります。これはヨーロッパが発祥で、日本のGAPもそれと同等性をもたせることで、安全および高品質な農産物を消費者へ届けようというものです。認証団体から審査を受けて認証されるとGAP取得者としてPRすることができます。

GAPについて、栗田さんは、もっとわかりやすい言葉で説明をしています。GAPとは『まじめな農業の取り組み』のことです。お客様に根拠のある安全を担保するためのものであり、まじめに当たり前のことを当たり前に取り組んだ結果、GAPの認証に繋がります。そのまじめ具合はBetter(より良く)でも

Best(一番良く)でもなく、Good(良い)でいいので、何も難しく考えることはなく農家が余計な負担を強いられる事ありません。では、実際に、栗田さんはどのようなことをしているのでしょうか？一度認定されたからといって安穩としているわけではありません。もちろん更新に備える意味もありますが、何か問題点・改善点はないかと常に考えているところが、



冷蔵庫を利用した農薬保管庫と内部



栗田さんのすごいところです。実際、この取り組みが効を奏して、是正項目のない優良農場だということで、1年に1度更新するところを2年に1度でよい認証者となっています。

栗田さんの GAP 取り組み例 安全を担保するために行なっていること

農薬使用済み容器の専用保管箱を設置している。

農薬の保管庫(古い冷蔵庫)があり、使い途中のものも誤使用できない工夫をしている。

保管庫に入れている農薬の使用方法や注意事項を一覧表にし、扉に貼り付けてある。

農薬管理表(購入・出庫)は、記号などで簡単に記入できる形式にしている。

農薬専用のチリ取りやタオルを準備している。

ハウス内の農薬飛散防止用に、飛散防止カーテンを設置している(開閉自在)

ハウス内や調整作業所に糞尿性大腸菌の持込防止のためにトイレ専用のスリッパを備え、入り口では消毒液トレイに靴底を浸してから入る。など。

どれも、工夫次第で負担無く続けられることばかりです。上記の内容はほんの一例です。



農薬の調合状況

これからの農業は経営力とGAP！

こんな栗田さんですが、最後に将来の展望をお聞きしました。まず、口をついて出たのは「GAPの取り組みを継続して行きたい」ということです。GAPは自分の有利販売の道具ではなく、お客様に安心して頂くのと自己防衛のためなので、「これでもうOK」ということ



ビニールカーテンでドリフト防止の工夫

ではないのです。「根拠のないイメージだけの安心より、根拠のある安全へ」をスローガンに栗田さんはまだまだ燃えています。ただ、コスト面など道のりは険しく、「やればやるほど難しいということがわかってしまう分野」と栗田さんは苦笑い。ともかく加工については模索中みたいです。

栗田さんには、お子さんが3人いますが、後継者について特に「自分の子供に」とは考えていないようです。というのも、農業はやっぱり難しい「業(なりわい)」であるし、それ以上に経営力がもっと必要とされるため、この「経営力」のある人をお願いしたいのだそうです。栗田さんいわ

次に、少子高齢化や、家庭で料理をする人が昔に比べて少なくなっている昨今、生鮮野菜そのものだけでは消費も減る傾向にあります。素材で料理をしなくなった分、お惣菜など加工品の消費が伸びている現状を見ると、みつばも加工した形で販売できないかと意欲的です。

次に、少子高齢化や、家庭で料理をする人が昔に比べて少なくなっている昨今、生鮮野菜そのものだけでは消費も減る傾向にあります。素材で料理をしなくなった分、お惣菜など加工品の消費が伸びている現状を見ると、みつばも加工した形で販売できないかと意欲的です。



散布日と収穫可能日記載

く、戦後の物不足の時代を経てモノ余りの時代になった今は、お客様に作ったものを買って頂くという姿勢であるべきとのこと。しかし、現状はこのあたりのギャップに気付いていない生産者が非常に多いそうです。少し立場を変えれば色々と見えてくるはずとのこと。そして、そのような視点でモノをみることが出来る人に経営をお願いしたいとのこと。また、栗田さんが強調する「経営力」は、今後の農業のキーポイントになるだろうと強く感じました。



コンクリートで害虫の生息地を排除して農薬散布軽減

最後に！

事務所でお話を聞いたあと、広いハウス内を案内していただきました。ハウス内でもそこか

しここに、GAP の取り組みを見ることもできました。お話を伺いながら実際の取り組みを拝見していると、なんというのかイヤイヤというよりは、「あーこれもいいかも！」「お、これもだなぁ！」と、改善点が見つかり嬉々として取り組む感じが見て取れ、GAP は栗田さんのような人のためにあるのかもしれないと密かに思ったものです。何をやるにも、「義務感から」よりは「能動的に」取り組んだ方が絶対良いはず。



みつばの幼苗

そして今回の取材では、いまひとつピンと来なかった GAP についての理解が深まったことも自分自身の大きな収穫でした。また、栗田さんが作られた講習会などの資料や、ご本人がすべて作っているというホームページの掲載文章を見ると、非常にわかりやすく、説得力があります。こういう力も消費者を動かすには必要なはず・・・と思いました。

ホームページ紹介

栗田さんのホームページ「美水みつばの郷」<http://www.m-mitsuba.com>

会社概要や GAP の取り組み、みつばの出荷までのことだけでなく、毎月、大野町の風景を写したふるさとギャラリーも掲載されています。興味を持たれた方はぜひ、ご覧になってみてください。また、掲載の写真は栗田さんがお送り頂いたものを主に使用しました。

今回のインタビューは、大分県果樹試験所の若月様のご協力により実現しました。ご協力に感謝いたします。（佐伯・古津）

*JGAP : (Japan Good Agricultural Practice) 直訳すると「日本版・良い農業のやり方」で、「適正農業規範」や「農業生産工程管理手法」などと訳されています。

[目次へ戻る](#)

りんごの病害虫チョットいい話 (13)



「地球温暖化」でりんごの病害虫発生がどう変わる？

このまま地球温暖化が進めば100年後には果樹の生産地は北上し、りんごの主産地は北海道に、柑橘類は東北地方へ移動すると言われてはいますが果してどうなりますでしょうか。そうなるまでに気象は徐々に変化していくものと思われ、病害虫の発生状況も当然ながら変わっていくことでしょう。

病害虫発生の変化は単に気象要因のみならず、防除法の変遷とりわけより効果の高い農薬の登場(例:DMI EBI 剤の登場によりうどんこ病、赤星病の減少) また耐病害虫品種の登場(例:斑点落葉病耐病性品種の増加)によっても大きく変わりますが、筆者が住んでいる秋田県は縦長の長方形をしており県南の横手市は年平均気温が11.0、県北内陸部の鹿角市が9.6(秋田果試調査直近10年間の平均気温)でその差1.4あり、両地域でのりんご病害虫発生の違いをもとに、将来起こるであろう又は起きつつある変化を大胆に予想してみたいと思います。



病害については好低温性であるモニリア病は積雪条件が必要であるため雪が積もらなくなった東北では過去の病害になり、黒星病、腐らん病なども本州では防除対象にならなくなるでしょう。一方好高温性の輪紋病は現在あまり問題になっていない秋田県北部や青森県でも発生が多くなり、加えて梅雨前線の北上に伴う多雨により、褐斑病、炭そ病なども多発するようになると思われます。また、斑点落葉病の初発時期が開花前からとなり、終息も収穫直前までと長期に亘ることが考えられます。

虫害については耐虫性品種の育成が難しいこともあって、気象変動の影響(高温化)が大きく現れると思われます。ハダニ類については、既に夏期高温になる産地で多発生が問題になっているところがありますが、殺ダニ剤の抵抗性発達の加速化を含め難防除害虫の筆頭に上げられます。また、前回取り上げたカメムシ類もチャバネアオカメムシなど好高温性の種や、枝幹害虫であるキクイムシ類の発生も増加すると思われます。急速な温暖化に天敵類の増加が追いつかず、予想外の害虫が大発生することも考えられます。

悪いことばかりの予想になりましたが、世界的な二酸化炭素排出量削減施策が早急に軌道に乗ることを願わずにはられません。

今回で当シリーズを終了させて頂くことになりました。拙文をご愛読頂いた方々に厚く御礼申し上げます。(技術顧問 水野)

[目次へ戻る](#)

今月の紹介農薬

異なる作用性の剤の組み合わせによる

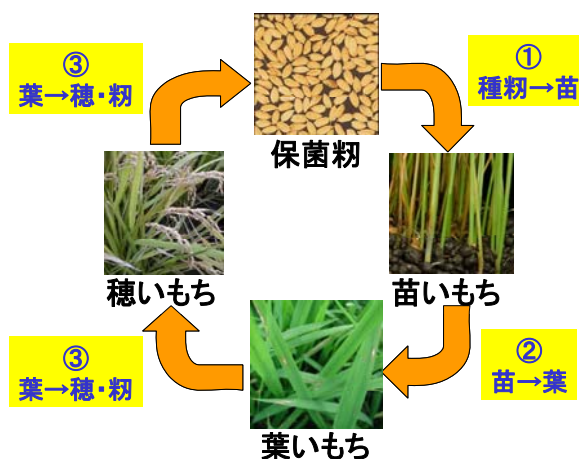
いもち病の効果的な防除！

今月は、いもち病の効果的な防除についてご紹介します。いもち病は稲作において最も警戒すべき病害です。しかしながら、そんないもち病もその性質を理解し的確な防除を行うことによって効果的に防ぐことが可能です。

■■ いもち病の伝染経路を知ろう！ ■■

いもち病を効果的に防除するにはいもち病がどのように稲に伝染するかを理解する必要があります。いもち病の伝染経路を図1に示します。この伝染経路で防除のポイントになるのが以下の3箇所です。

- ① 種籾から苗へ
- ② 苗から葉へ
- ③ 葉から穂・籾へ



■■ 伝染経路の遮断が防除のポイント！ ■■

いもち病の防除には、上に示した防除のポイントにおいて異なる作用性の剤を使用して伝染経路を遮断することが大切です。そのような防除を行うことにより、以下の2点が期待されます。

- ① 安定した効果
- ② 耐性菌（薬剤が効かなくなるいもち病菌）の出現リスクの低減

住友化学はそれぞれの伝染経路を遮断する資材として様々な種類の薬剤を提供しています（下表）。いもち病防除を行うに際し、住友化学の農薬を有効にお使いいただくようお願いいたします。（木村）

図1 いもち病の伝染経路

住友化学のいもち病防除剤		
①種籾から苗への遮断	②苗から葉への遮断	③葉から穂・籾への遮断
ダコレート水和剤 ベンレート水和剤	嵐混合粒剤 デラウス混合粒剤 等	ブラシン剤 (粉剤、水和剤、フロアブル剤) ブラシン混合剤 (粉剤、フロアブル剤) 等
使用例：育苗箱灌注 等	使用例：育苗箱施用 等	使用例：本田散布、無人ヘリ 等

[目次へ戻る](#)

土作りから流通まで



本誌第 35 号では、弊社の農産物の流通・販売の具体的な事例や考え方をご紹介いたしました。同号でも少し申し上げましたが、弊社では農産商品部が農産物の流通・販売を担当しております。しかし“販売”が物流の終着点ではありません。消費者からより高く評価される農産物をめざして、パイヤーさんやお客様の声を農産商品部から営農普及部へフィードバックさせ翌年に向けた商品作りに取り組みます。このプロセスを経て、弊社のテーマであります「土作りから流通まで」が完結します。

「安全、安心、そして美味しい」商品作り

信貴山の東側の麓に広がる奈良・広陵町がサラダ茄子「やまと小町」の故郷です。10 アールほどで始まった栽培も、ようやく 43 アールにまで広がり弊社は 3 年前からお手伝いをさせていただいております。広陵町は茄子の指定産地になるなど昔から茄子の栽培が盛んな土地ですが、ここ丸広出荷組合(杉本理事長)では生食でも美味しい茄子の栽培を独自のブランドで展開されています。昨年の 12 月、弊社の営農普及部と農産商品部の担当者が丸広出荷組合を訪問し、3 月上旬の定植と 5 月中旬から始まる出荷に向けての打ち合わせを行い、また、畑の土分析をさせていただきました。この分析作業は住友化学グループの分析機関で速やかに実施され産地に報告されます。この結果をもとに 1 月下旬に綿密な肥料設計を産地と協議し、安全・安心に向けての方向性が決まります。農産物の食味の良さは勿論ですが、農家さんの費用負担や作業効率も考慮して準備を進めて参ります。



いよいよ販売に向けて

定植も終え順調に行けば、春には紫色の綺麗な花をつけます。天敵(オリスター-A)以外あまり農薬を使用しないので、防除に細心の注意を払います。長年栽培に携わってこられた茄子のプロでも「この品種は毎々が新たなチャレンジですね・・・」と。要請があれば、営農普及部の担当者が即座にハウスへ出向き状況を伺います。それと並行して農産商品部の担当者は農家さんのご自宅を訪問し、栽培に関する想いや苦労話をお伺いし、販促用のチラシや POP を作ります。必要とあらば弊社の社員が自分で台所に立ち、農産物と格闘しながらレシピを書く事もあります。この「やまと小町」は糖度が 5 度～6 度あるのでサラダに最適ですが、今回は薄くスライスした茄子を 4～5 秒軽くシャブシャブにして見ました。皮がとても柔らかく美味です。どうか今年も順調に育ちますように！



営農普及部の担当者が即座にハウスへ出向き状況を伺います。それと並行して農産商品部の担当者は農家さんのご自宅を訪問し、栽培に関する想いや苦労話をお伺いし、販促用のチラシや POP を作ります。必要とあらば弊社の社員が自分で台所に立ち、農産物と格闘しながらレシピを書く事もあります。この「やまと小町」は糖度が 5 度～6 度あるのでサラダに最適ですが、今回は薄くスライスした茄子を 4～5 秒軽くシャブシャブにして見ました。皮がとても柔らかく美味です。どうか今年も順調に育ちますように！

[目次へ戻る](#)

住友化学の液肥について(その3)

今回は、有機成分を入れた液肥についてご紹介いたします。住友化学の有機成分入り液肥は、無機成分による速効作用と、有機成分による穏やかな肥効が調和して発揮され、果樹・野菜の品質向上や肥大促進に効果的です。

1. **スミホープ LF1 号、2 号**・・・魚ボカシエキス・海藻エキスから供給されるアミノ酸類・ミネラル類・糖類等の栄養成分の相乗効果により、作物の生育促進、品質向上が図れます。生育や開花結実の促進にはスミホープ 1 号が、成熟期や収穫前の追肥用には、りん酸と加里の成分を高めたスミホープ 2 号が適します。
2. **スミホープ 666**・・・豊富な栄養源を含む魚ボカシエキスが入っています。使い勝手が良く、汎用的にお使いいただける肥料です。
3. **アメリッチ**・・・有機態、アンモニア態、硝酸態、尿素態の各種窒素成分をバランス良く含み、野菜・果樹の品質向上に効果的です。
4. **スーパーグリーン 745**・・・動物たんぱく質と糖蜜液の有機物(アミノ酸、糖類、ビタミン等)を含み、高い肥効が期待できます。

銘柄	成分 (%)							
	窒素 全量	アンモニア性 窒素	硝酸性 窒素	りん酸	加里	ほう素	有機由来 窒素	有機率
スミホープ LF1 号	6	2	-	6	6	0.05	0.3	約 33
スミホープ LF2 号	2	-	-	8	8	0.05	0.3	約 33
スミホープ 666	6	2	-	6	6	0.05	(0.05)*	約 5
アメリッチ	8	1	1	4	6	-	0.5	約 7
スーパーグリーン 745	7	-	-	4	5	-	0.2	5

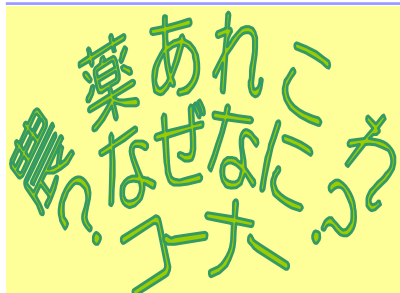
* () は参考値

お問い合わせは住友肥料販売店までお願いいたします。

肥料用語解説(その6)

有機質肥料とは・・・肥料取締法では、魚肥類、骨粉類、草木性植物油かす類等の動植物の普通肥料のことを指します。土壤中での有機物の分解過程に応じて、窒素、りん酸等の肥料成分に無機化されるため、肥料は一般に緩効性です。有機質肥料を原料として含む肥料は、有機質原料由来の窒素成分が 0.2%以上であれば名称に「有機入り」と記載することができます。

[目次へ戻る](#)



いちど凍ってしまった農薬は使ってもいいの？

ご質問

3月に入ったとはいえ、まだまだこちらは寒い日々が続いています。先日、納屋に保管していた「粘着くん液剤」がどうも凍ったような跡があるのですが、凍っていたとしたら、もう使えないのでしょうか？ちなみに凍ってしまうとどういう状態になりますか？

お答え

粘着くん液剤が凍ったら・・・

粘着くん液剤の場合、一度凍ってしまうと、溶かしても元には戻らず、効果が低下してしまいますので、残念ながら使用できません。粘着くん液剤は、氷点下にならない場所での保管をお願い致します。

凍ったかどうかの見分け方

調べた時には液体でも、実は夜中に凍っていたということもあるかと思えます。一度凍ったかどうかは、どうしたら見分けがつくのでしょうか。粘着くんの場合は分かりやすく、一度凍ると白い塊が出来て、いくら振っても元のような均一な液には戻りません。逆に、もし液が均一であれば、使用して差し支えありません。なぜ凍るとダメになるのでしょうか。水は凍る時、水以外の成分を追い出す性質があります。薬剤が徐々に凍っていくと、有効成分やその他の成分の多くは、まだ凍っていない部分に追い出され、濃度が濃くなります。そして、均一に混ざっていた有効成分が互いにくっついて塊になってしまうのです。

凍ったらダメな農薬は他にも・・・？

粘着くん以外にも、凍らせるとダメな農薬は存在します。通常は「注意事項」にその旨が書かれていますので、見逃さないようにして下さい。粘着くんのラベルには、「低温度(0以下)では保管しない」という内容の注意書きが記載されています。一方で、たとえ凍っても溶かせばそのまま使える農薬もあります。

一般に、凍りやすい水ベースの農薬には凍結防止剤が入っている場合が多いので、氷点下付近ではそれほど神経質になる必要はありません。ただ、北海道のように、氷点下を大きく下回る気温になる地域では注意が必要です。(佐伯、南)



[目次へ戻る](#)

今月のお奨め農薬

水田雑草の省力防除に！

ヨシキタ1キロ粒剤、ヨシキタフロアブル、ドニチS1キロ粒剤

3月に入り、多くの水稲栽培農家では田植えの準備にかかっておられます。特に、宮崎県の農家のように早期栽培で3月下旬には田植えにかかるころでは、準備作業の真っ最中です。多くの農家が4月下旬から5月中旬にかけて田植えを行います。この時期は他の農作業と重なることが多く、「猫の手も借りたい」状態です。さらに栽培面積が大きくなると、病害虫防除用の育苗箱処理や田植え後の除草剤散布といった農薬の散布も大きな負担となります。

このような問題を解決するには、田植え機に装着した機械で田植えと同時に散布できる「ヨシキタ1キロ粒剤」、「ヨシキタフロアブル」、「ドニチS1キロ粒剤」をお奨めします。「ヨシキタ1キロ粒剤」及び「ヨシキタフロアブル」には有効成分としてイマゾスルフロン、プロモブチド、ペントキサゾンが含まれており、「ドニチS1キロ粒剤」には有効成分としてイマゾスルフロン、プロモブチド、フェントラザミドが含まれています。

- ・イマゾスルフロンは極めて少ない薬量でノビエを除く一年生雑草、多年生雑草、難防除雑草に高い効果を発揮します。

- ・プロモブチドはカヤツリグサ科雑草に卓効を示すのみならず、イマゾスルフロンなどのスルホニルウレア剤に感受性が低下し防除が困難なホタルイ、コナギ等に高い効果を示します。

- ・ペントキサゾンは発生前～1.5葉期のノビエに卓効を示し、残効期間が長く、40～50日間程度ノビエの発生を抑えます。フェントラザミドは発生前～2.5葉期のノビエに卓効を示し、初期の処理時期においてはコナギ等の広葉雑草に対しても高い効果があります。これらの有効成分の合理的配合によって、安定した高い効果を示すと共に、各有効成分の特長が発揮された次のような優れた特長を持っています。

- 1) スルホニルウレア系除草剤に抵抗性を示す雑草を含め、ほとんどの水田雑草に防除効果を示す。
- 2) 移植直後から散布できる。
- 3) 田植え機に装着した機械で田植えと同時に散布できる。

「ドニチS1キロ粒剤」ではこれらに加えて直播水稲でも使用できる特長を持っています。これらの除草剤をご利用頂き、農作業の省力化を実現してください。なお、水田用除草剤の効果を安定にするには散布後湛水状態を3～5日保つことが必要ですが、有効成分の河川への流出を防ぐため、7日間は落水、かけ流しをしないでください。(山脇)



[目次へ戻る](#)

今月のご相談から

種物消毒にベンレート水和剤とスミチオン乳剤の使い方！

Q：種物消毒でベンレート水和剤とスミチオン乳剤を同時に処理ができますか？

A：同時浸漬処理ができます。スミチオン乳剤 1000 倍とベンレート水和剤 500～1000 倍の 24 時間同時処理をして下さい。スミチオン乳剤はイネシנגレセンチュウに対して、ベンレート水和剤はいもち病と、フザリウム菌によるばか苗病に対して効果があります。

浸漬による種子消毒をするに当たっては、以下の注意を守って下さい。

催芽前処理の場合

塩水選：消毒前に塩水選をする。

消毒：24 時間薬液に浸漬する。（粕と薬液の比率を 1：2 とする）

風乾：浸漬消毒後、水洗いをせず種物を十分風乾してから浸種する。

催芽：風乾後に浸漬・催芽する。

催芽後処理の場合

塩水選：催芽前に塩水選をする。

催芽：鳩胸状態になる前までに催芽を終了させる。

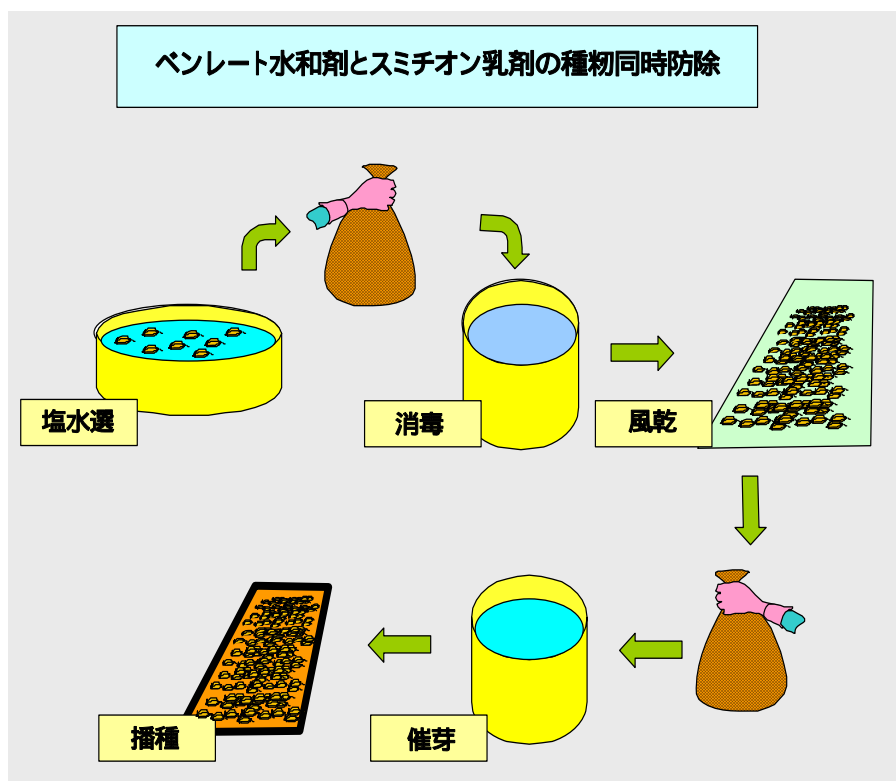
消毒：24 時間薬液に浸漬する。

風乾：消毒後、種物を十分風乾してから播種する。

また、個々の薬剤を粉衣処理する場合は、以下のことを守って下さい。

ベンレート水和剤の付着をよくするために予め種子を湿らせ(塩水選水切り後などが適当)湿粉衣する。

スミチオン乳剤による吹き付け又は塗末処理には専用の種子消毒機を用いて乾燥種物重量の 3% を付着させる。この場合スミチオン乳剤は 100 倍に希釈する。（鈴木）



[目次へ戻る](#)

農薬登録情報

< 2月20日・3月5日付けの適用拡大内容です >

適用拡大

ダントツ水溶剤・粒剤・ベストガード粒剤ほか 主な適用拡大内容を抜粋してお知らせします。詳しくはi-農力サイト、チラシ等で確認ください。

種類	薬剤名	作物	変更点	病害虫名/ 使用目的	使用量ほか
殺虫 剤	ダントツ水溶剤	稲	使用時期変更	収穫 14 日前	収穫 7 日前
		キャベツ	害虫追加	コナガ (2000 倍)	
		てんさい	使用方法追加	散布 (カメムシ、テサイエグ、リハバ、E、アブラムシ類 2000 ~ 4000 倍、収穫 14 日前まで、3 回以内)	
		豆類 ()	希釈倍数変更	アブラムシ類 「2000 ~ 4000 倍」	
		だいず			
		えだまめ		カメムシ類 「2000 ~ 4000 倍」	
		ブロッコリー	害虫追加	アオムシ (2000 倍)	
			希釈倍数変更	アブラムシ類 「2000 ~ 4000 倍」	
		にら	害虫追加	アブラムシ類 (2000 ~ 4000 倍)	
			希釈倍数変更	ネギアザミウマ 「2000 ~ 4000 倍」	
		アスパラガス	害虫追加	ジュウホシクビナガムシ (2000 ~ 4000 倍)	
		りんご	害虫追加	追加：ケムシ類 (2000 ~ 4000 倍)	
		なし	害虫名変更	変更：クワカガラムシ コカガラムシ類に	
		うめ	希釈倍数変更	ケムシ類 「2000 ~ 4000 倍」	
			害虫追加	カメムシ類 (2000 ~ 4000 倍)	
		ぶどう	使用時期変更	収穫 14 日前	収穫前日まで
		かんきつ (苗木)	害虫追加	ゴマダラカミキリ (20 倍)	
		かき	害虫名変更	ツコカガラムシ	コカガラムシ類に
		かぼちゃ	作物追加	アブラムシ類 2000 ~ 4000 倍 収穫 3 日前まで 3 回以内 散布	
		みょうが (花穂)		ツコカガラムシ 2000 倍 収穫前日まで 3 回以内 散布 (2)	
みょうが (茎葉)	ツコカガラムシ 2000 倍 みょうが (花穂) 収穫 前日まで (3) 3 回以内 散布				
きく	害虫追加	アブラムシ類 (生育期株元灌注、4000 倍) カメムシ類 (散布、2000 ~ 4000 倍)			
殺虫 剤	ダントツ粒剤	稲	使用時期変更	収穫 14 日前	収穫 7 日前
		きゅうり	使用量変更	コジラムシ類 (定植時) 1g/株	1 ~ 2g/株
			害虫追加	ミキイロザミマ (育苗期後半 1g/株 株元処理)	
		メロン なす	害虫追加	コジラムシ類 (育苗期後半 1g/株 株元処理)	

	ダントツ粒剤	トマト ミニトマト	使用時期追加	育苗期後半 (アブラムシ類 コジラミ類 1g/株 株元処理 1回)
		キャベツ	害虫追加	ハマグサラメイガ (育苗期後半 0.5g/株 1回 株元処理) (定植時 1~2g/株 1回 植穴処理土壌混和)
		ねぎ (露地栽培)	使用時期追加	植付時(ネアザミウマ ネハダリハ I 6kg/10a 植溝処理 1回)
		かんしょ	害虫追加	アブラムシ類(6kg/10a 育苗期 1回 株元処理)
		さとうきび	作物追加	ハリガネムシ類 4~6kg/10a 植付時 1回 植溝処理土壌混和
		げっきつ		ミカンジラミ 30~40g/株 発生初期 4回以内 生育期株元散布
		ブロッコリー		アブラムシ類 ハマグサラメイガ コガアムシ 播種時 育苗期後半 定植時 いずれかで 1回
		非結球レタス		アブラムシ類 0.5g/株 育苗期後半 1回 株元処理
	ばら カーネーション	使用量追加	6kg/10a (アブラムシ類)	
	ベストガード粒剤	なす	害虫追加	コジラミ類 (1~2g/株 定植時 植穴処理土壌混和) (1g/株 育苗期後半 株元処理)
		トマト ミニトマト	使用量変更	コジラミ類(育苗期)1g/株 1~2g/株
		メロン	使用時期追加	コジラミ類(定植時)2g/株 1~2g/株
		とうからし類		とうがらし類を「とうがらし類(ししとうを除く)」と「ししとう」に分離。 ししとうのアブラムシ類に使用時期「育苗期」追加。
	殺菌剤	ボルドー (水和剤)	樹木類	作物追加

種実、ただし、だいず、らっかせいを除く

2 但し花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用

3 花穂を収穫しない場合にあっては開花期終了まで

[目次へ戻る](#)

最近の「お・・美味しい!!」

心をこめて「いただきます」

弊社相談室から佐伯がお送りします
最近の「お・・美味しい!!」
女性の目・主婦の目・はたまた酒呑み??の目(笑)で
毎月「これぞ!!」というものを紹介します。
どうぞお楽しみに♪♪♪

今回ですね。せっかく取材(巻頭の農家さん訪問記)で大分市まで出張させてもらいましたので、美味しいものも食べよう!ということで(?)市内にあるお魚専門の居酒屋さんに連れて行ってもらいました

そのお店では、いろんな美味しいお料理(とお酒)をいただきましたが、強烈にインパクトがあったのは「今日から登場しました」という春の初物「白魚のおどり食い」です。よくほら、テレビで見るでしょう。ウヨウヨ動いている白魚をそのまま



見えづらいですが、透明なのがウヨウヨしています(ひえー)

食べるというアレです。グラスに入れて連れて来られた白魚たちを、梅ソースをかけていただくのですが、これは私も人生初体験。梅ソースをかけると、若干弱るのか動きが鈍くなるものの、やっぱりまだ動いています。「ひえ〜」と思いながら、思い切って口の中へ……。口の中頬の下で「ぐるんぐるん」動いてる動いてる(汗)。うわ〜噛めないよ〜。と一瞬たじろぐけれど、そこは、お酒が入っている身なので「す・・すまねえ!(私の血となり肉となっておくれ!あ。カルシウムだから骨かい?)」と思いながら2・3口噛んで「ごっくん・・」。味ですか?えーと。ちょっと塩っ辛くてあとは梅の味(苦笑)。新鮮なのでプリっ!としていたのは憶えています(すみません)。

それでね。食べた後に、この料理は、「しらふ」じゃ無理かも・・と思ったのと同時にしみじみ、「あ〜、命をいただいているなあ」と思ったのです。今回は、こんな「生きたままの魚」を食べってしまったから特にそんなことを思ったのかもしれませんが、考えてみれば魚だけじゃなくて、お肉もそうだし、野菜だって、穀物だって、何でもすべてそうですよね。いつも「いただきます」と、食事前に言っているけれど、もっと心をこめて言わないといかん。と、改めて思ってしまった。



佐伯ちりめんと武蔵葱のサラダ(温玉のせ)

皆さんはどうですか??ちゃんと食事前に「いただきます」って言っていますか??めざせ!脱形骸化!ですよ!あ。食後に「ごちそうさま」もお忘れなく!(佐伯)

【初体験おまけ】今回の大分出張では他にも初体験がありました

大分市内と空港を結ぶ「ホバークラフト」乗船がその一つ。陸も海もスイスイ!これって浮くんですよ(すごい!)しかも、女性の艦長さんでした(ステキ!)

陸上での下船後思わずカメラでパチリ



[目次へ戻る](#)

コラム・そば談義

主演が小林薫の「歓喜の歌」を観に行った。

映画館まで足を運んだのは、かれこれ10年振りだろうか。きっかけは、JALの機内誌に小林さんをインタビューした記事があった。その文章が素晴らしく、彼の飾らない気持や表情がよく表現されていて、近くの映画館で上映すれば、ぜひ観てみようと思ったのである。

そんな文章を読んで、本誌も少しはそんな記事が書けているのだろうかふっと思う。この年始に「i - 農力会員様」にアンケート調査を実施し、多くの会員の方から貴重なコメントを頂戴した。その内容については、辛口のコメントも一部にあったが、本誌に対する感想は概ね好評であった。特に、「農家さん訪問記」は必ず読むという会員さんが非常に多く、編集に携わる者として心強く且つ嬉しく思った。そして、今後もインタビューを通じて農家さんの思い、悩み、希望、夢などを伺い、読者の皆さんに感動や元気を与えられるような記事にしたい。

さて、「歓喜の歌」のストーリーだが、ある地方の文化会館職員を演じる小林薫が、名前の似た二組のママさんコーラスの発表会を、大晦日の同じ時間帯にダブルブッキングに気付くところから始まる。それも前日に気付き右往左往し、その上に借金を取り立てられ、また、別居中の妻から離婚を迫られるというドタバタ劇だ。とことん追い詰められたお父さんがこれを機に猛然とやる気になり、お互いのグループと一緒に発表するまで漕ぎ着け、それを見た家族が縁りを戻すという設定である。また、ママさんコーラスの歌声も素晴らしく、私も感動した。また、映画館は綺麗で客も少なくゆっくりと鑑賞することが出来た。

そして、夫婦のうちどちらかが50歳以上だと二人の鑑賞券が2000円になるシルバー割引を初めて利用した。気分は、大変得をしたと思う反面、そういう年齢になったと一抹の寂しさを覚えるのも確かである。それは、電車に乗ったときシルバーシートにまだ座りたくないと思う気持とよく似ている。

映画館を出たあと、少し小腹が空いたので女房と二人で近くのそば屋の暖簾潜り、熱燗を飲みながら蕎麦を啜った。そして、たまにはこうして映画でも観ようかと言ってはみたものの、あれから1月以上になるがなかなか足が向かないのである・・・(古津)

編集後記

お隣の中国・韓国・台湾との関係がより密になった。特に、食料やエネルギーなどで、良きに付け悪きにつけお互いがより影響し合うようになるのであろう。

今月の「農家さん訪問記」に登場頂いた栗田さんが取り組んでいるJGAPの指導者講習会に参加した。その会場には、農家さん、JA職員、小売店、市場関係者、肥料店や農薬メー

カーなど色々な方がおられ熱心に受講された。要するに、メタミドホス入り餃子ではないが、異物混入や不衛生な生産物などが無いよう今後キチンと真面目に農産物の生産から販売まで取り組んでいこうという機運がここに来て盛り上がりを見せてきているように感じる。やっと、日本も安全・安心が定着するような気がダンダンとしてきた。



カット 加藤

[目次へ戻る](#)